

# 出向先の労働条件改善を取り組みます

**JR本体よりも問題が多い**

**作業環境・労働条件**

車両所のJR東海労の仲間がSMT・SEKなど関連会社に出向にでています。会社は違いますが東海道新幹線の運行に必要な大切な仕事です。

しかし、その労働条件は、勤務時間・休日付与・作業のあり方・職場環境など、本体のJR東海と比べて多くの問題があります。私たちは、出向先で働くJR東海労の仲間と出向先会社の社員のみなさんの労働条件の改善のために取り組みを強化します。出向に出ている仲間たちと話し合い、出向先会社に問題点の解決を求めることにしました。

## 要求事項の主なもの

### 【SMT】

- ・翌月の休日予定はすべての休日を発表すること
- ・第一事業所と第二事業所の作業本数の差が大きいのので平準化すること。
- ・サービスデスクに待機場を。
- ・内掃作業を二班体制にもどすか、検修庫中央に地下通路を設置すること。
- ・検修庫中央の通気状態の改善

### 【SEK】

- ・第二修繕にも雨合羽支給を。
- ・制服の洗濯は会社が行うこと。

# J R 東海は職場で働く社員の声を尊重せよ！

## 協約・協定改訂の最終回答出される！

2012年度の「基本協約・協定改訂」交渉は、9月13日最終的な会社回答が出ました。内容は「専任社員の基本給の一部引上げ（在職高齢年金支給開始までの一部補填）」はあったものの、一方では「時間欠勤を期末手当の期間率に反映」や「転勤における独身寮移転費用の自己負担」など一部改悪の内容もあります。私たちがこれまでビラで明らかにしてきた声である「乗務員職場の一方的休日出勤問題」「年休を完全取得できる要員の配置」「60歳以降の雇用問題」「強制的な出向延長問題」「熱中症対策」「車両技術係業務への車両係の充当（ゴールデンハンマー）問題」など納得のいく回答はありませんでした。

## 職場の切実な要求にしっかりと応えるべきだ！

J R 東海労の要求は、現場で働く皆さんの声を基につくられたものです。これまで経営が順調なのは日夜にわたる社員の努力があったからです。J R 東海は社員の声にしっかりと耳を傾けるべきです。このままでは社員のモチベーションは上がりません。一方、J R 東海ユニオンは9月13日の会社回答を受けて、即日妥結しましたが、組合員の声はどれだけ反映されたのか疑問です。

私たち J R 東海労は翌日再申し入れを行ない、「改正高齢法に基づく再雇用や、再雇用の条件の撤廃」「一方的休日出勤の解消と年休完全取得できる要員配置」「組合事務所の便宜供与」「出向および出向延長は本人の同意を得ること」などについて粘り強く交渉を行ないました。

## 職場から声を出し、職場・労働条件を改善しよう！

9月20日の J R 東海労の再申し入れに基づく第9回目の団体交渉では全て対立で終わりました。しかし、職場で汗水流して奮闘している組合員の実際の声に基づいて粘り強く交渉することは、労働組合として当然の姿勢を示したといえます。

このままでは、社員が将棋の駒のように使われ、不要になったら切り捨てられる職場環境となってしまう。黙っているは何も変わりません。

J R 東海労は社員の声を基に、職場からさらに声を出し取り組みを強化していきます。共に頑張りましょう！

J R 東海労働組合新幹線地方本部

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 2-1-2 水沢ビル 2 F

TEL 03-3551-2240

ircushinkansen@yahoo.co.jp